

東京保険医協会 ワクチン供給不足問題 緊急アンケート／集計結果

都内小児科の**7割**が「MRワクチン足りない」！

子どもの定期接種「期間内に打ち終わらない可能性**50%超**」の異常事態!!

麻しん・風しん混合ワクチン（以下、MRワクチン）について、政府は「不足が生じない見込みである」と回答してきました（2016年10月4日初鹿明博衆院議員の質問答弁書より）。

しかし、11月末現在、東京都内の一部の医療機関では未だにMRワクチンの入手が困難であり、なかには子どもへの定期接種を実施することも厳しい事例も聞かれます。主要な卸業者はいずれも、「ワクチン不足は全国的に起きていて、年明けまで解消の目途は立っていない」と答えています。

協会は、11月21日に厚生労働大臣宛に「定期予防接種の対象児への経過措置を求める緊急要望書」を提出（p.13）。さらに協会会員（小児科・内科等）への緊急アンケートを実施し、約2週間で362件の医療機関から回答を得ました（回収率11.21%）。

その結果、都内で小児科の70%、内科の64%で「ワクチンが不足している」と回答。さらに、「ワクチン不足のために子どもの定期接種が期間内に打ち終わらない可能性がある」との回答が半数を超えることも明らかになりました。

ここにアンケートの集計結果（速報版）をご報告するとともに、国・地方自治体に対してはワクチン供給が一朝一夕で回復しない状況を鑑み、定期接種に対する経過措置をとることなどを要望するとともに、将来的な供給体制の安定化に関する施策を国の責任で検討することを求めます。

東京保険医協会 ワクチン供給不足問題 緊急アンケート 実施概要

形式	FAXアンケート
抽出対象	第一・第二標榜に小児科、内科、耳鼻咽喉科、産婦人科を含む、協会にFAX番号登録のある会員
対象期間	2016年11月18日～12月2日
送信数	送信総数3,368件（うち不達139件）、到達件数3,229件
返信数	362件（うち当該予防接種未実施 37件） 小児科90件／内科235件／耳鼻咽喉科8件／産婦人科20件／その他9件
回収率	11.21%
質問項目	1. 主たる標榜科目 2. 現在、ワクチンの在庫は十分に確保されていますか？（MR、B型肝炎、日本脳炎） 3. 接種希望者へはどのように対応していますか？（3ワクチン別、複数回答） 4. 定期予防接種対象者のうち、ワクチン不足のため定期接種の期間内に打ち終わらない人が出る可能性 5. 供給不足が年明けまで続く緊急事態への対応として、「費用助成期間の延長措置」が必要だと思うか 6. そのほか、ワクチンに関してお気づきのこと、お考え等
備考	・回答には定期予防接種の未実施医療機関も含まれる。 ・予防接種未実施の回答者については1～4の集計対象外とした。 ・アンケート項目が矛盾する回答については回答者へ確認のうえ回答を確定している。

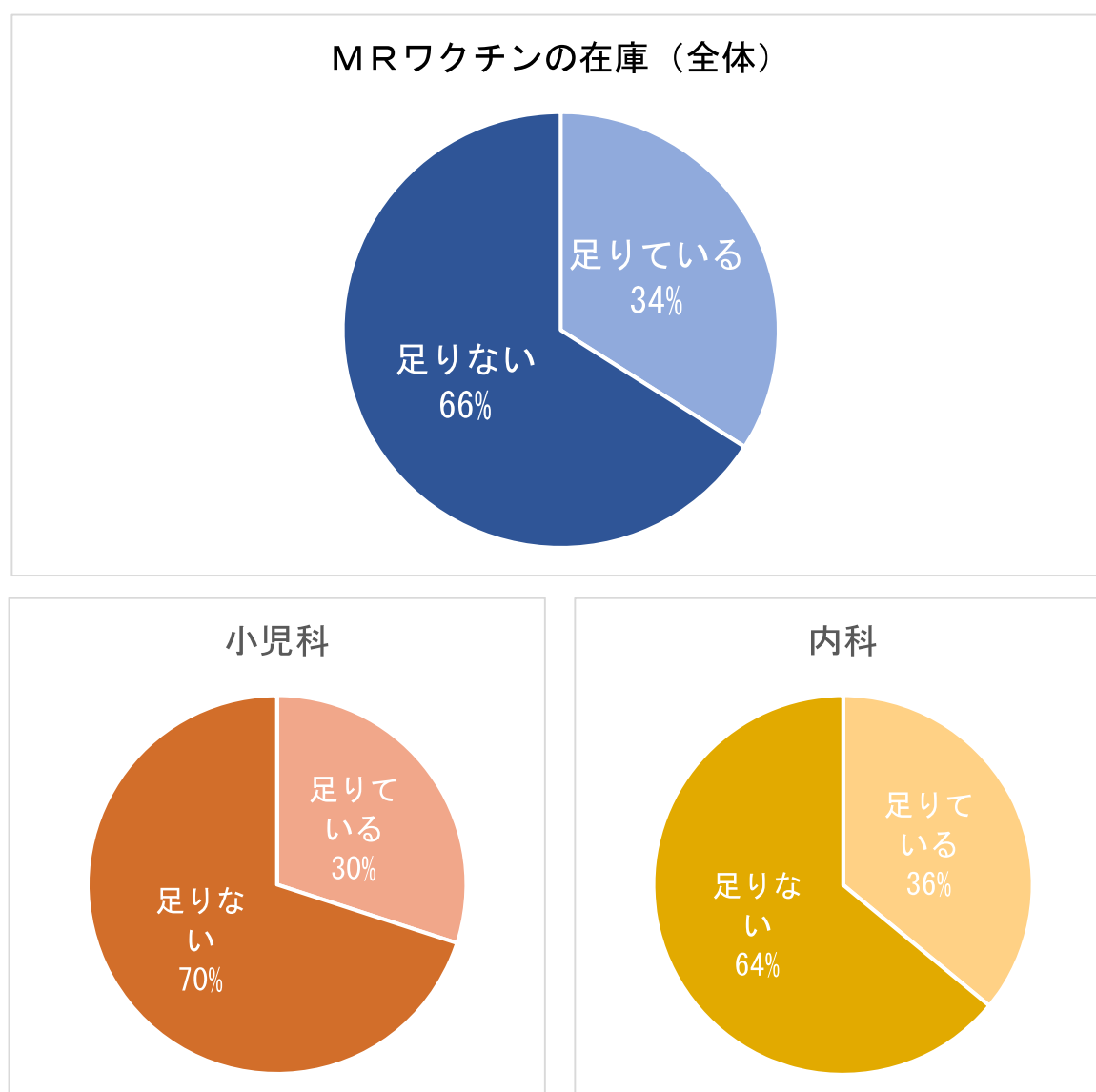
都内小児科の7割が「MRワクチン足りない」！

◆子どもの定期接種「期限内に打ち終わらない可能性 50%超」の異常事態！！

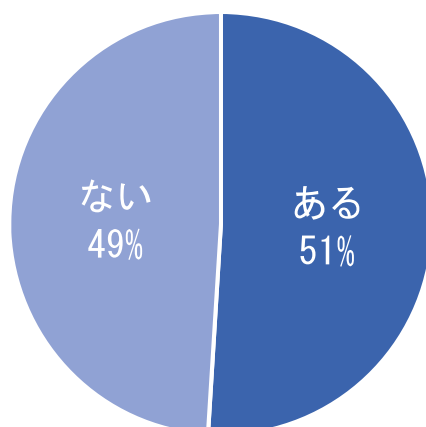
MRワクチンは、今年の全国的な麻疹流行によって子ども以外の接種希望者も増大した。一方、国内での製造メーカーのうち、北里第一三共が2015年10月に力価不足問題で自主回収・出荷停止となった影響が現在も解消されていない。当初からワクチン供給不足が懸念されていたが、厚労省は「不足が生じない見込みである」と回答していた(2016年10月4日初鹿明博衆院議員の質問答弁書より)。

しかし、協会のアンケートでは11月末時点で、**都内で小児科の70%、内科の64%で「ワクチンが不足している」と回答**し、さらに、**50%超の医療機関で「ワクチン不足のために子どもの定期接種が打ち終わらない可能性がある」**ことが分かった。

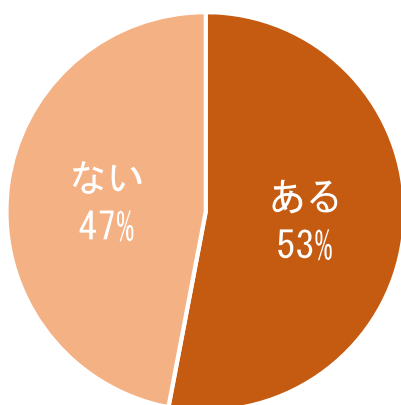
定期接種期間中に打ち終わらない場合、ワクチンの代金は原則全額自己負担となる。従来より接種率が低い東京都では、未接種者に対する助成を実施する自治体にもばらつきがあり、今後さらなる接種率低下が心配される (p. 14-15 参照)。



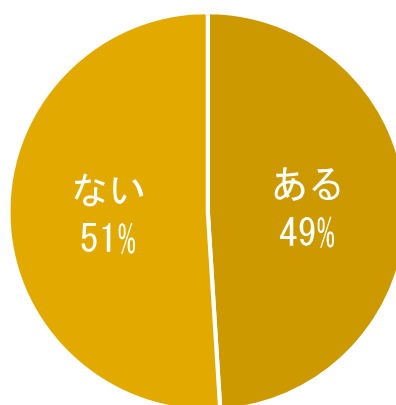
定期接種の期間内に打ち終わらない人が出る可能性
(MRワクチン／全体)



打ち終わらない可能性
(MR／小児科)



打ち終わらない可能性
(MR／内科)



Q. 現在、各ワクチンの在庫は十分に確保されていますか？

	全科合計		小児科		内 科		耳鼻咽喉科		産婦人科	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
足りている	106	34%	27	30%	74	36%	0	0%	5	28%
足りない	210	66%	62	70%	129	64%	3	100%	13	72%

Q. 定期接種対象者のうち、ワクチン不足のため定期接種の期間内に打ち終わらない人が出る可能性

	全科合計		小児科		内 科		耳鼻咽喉科		産婦人科	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
ある	146	51%	46	53%	91	49%	2	67%	4	40%
ない	143	34%	40	47%	96	51%	1	33%	6	60%

※科目は主たる標榜科目で集計。

希望者への対応——「大人の接種見合わせ」「Ⅰ期さえも待たせている」

◆「足りている」と答えた医師も、在庫の確保に苦心・・・地域間格差も

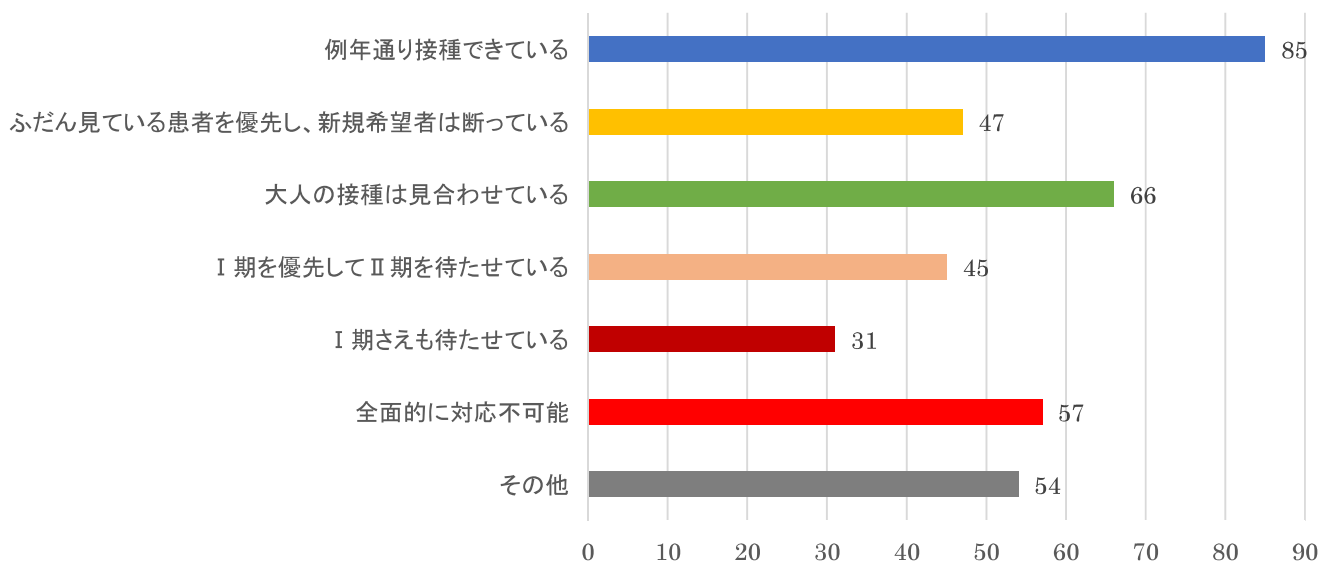
実際に接種希望者にどのような対応をしているか尋ねたところ、「例年通り接種できている」という声がある一方で、「ふだん見ている患者を優先」「大人の接種を見合わせている」「Ⅰ期を優先してⅡ期を待たせている」等の回答が多く寄せられた。

小児科では「全面的に対応不可能」の回答はほとんどなかったが、「Ⅰ期さえも待たせている」が15件にのぼった。内科では「全面的に対応不可能」が多くなっており、一部は予防接種の取り扱い医療機関でない可能性もあるが、MRを子ども優先とする通知が出されたことから、内科で在庫を確保できずに接種を断っている状況が推測される。また、同じく「Ⅰ期さえも待たせている」が16件あり、小児科と併せて全体回答数の10%が1歳への接種すら打てない状況が明らかとなった。

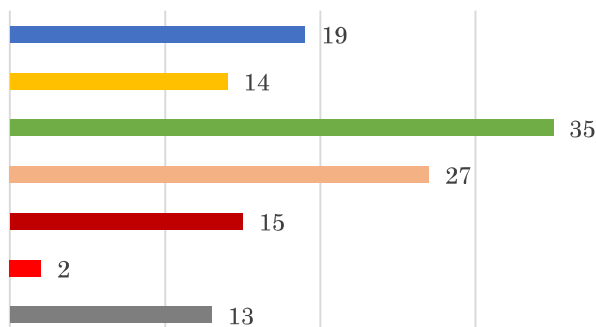
「足りている」「例年通り接種できている」と回答した医療機関でも、「順番待ち」「入ってくるのに時間がかかる」といった付記が散見された。在庫を確保するために医療機関が苦心し、希望者への対応にも多大な労力を割いている様子が窺える。

一方で、地域によっては問題なく注文できると回答したところもあり、流通状況に差が見られた。卸業者からの情報不足や、厚労省・自治体の対応に不満を訴える声も多く寄せられている。

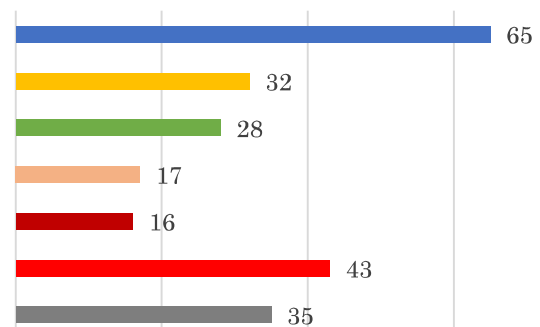
MRワクチン接種希望者への対応（全体）



接種希望者への対応（小児科）



接種希望者への対応（内科）



※小児科以外は大人のみ接種医療機関を含む。

小児科

- ・一時期不足しておりましたが、流通が再開して 10 月 12 日より例年通りに接種しております。（小児科）
- ・最近になり、ようやく現状回復傾向。（小児科）
- ・clinic によるワクチンの偏在あり（小児科）
- ・入荷後に予約を開始（小児科）
- ・予約制として順番待ち。（小児科）
- ・新規希望者を断ってやっと持っている状況。時々急に 10 本MRが入ってくることもあるので。（小児科）
- ・10 月～11/15 まで医師会としてⅡ期と自費接種の控えをお願いしていました。〇〇市は現物支給です。そうってから（3 年前）は割と困ることは少なくなりました。行政と卸の取引と個人と卸の取引では状況がちがう印象です。（小児科）
- ・ワクチンは予約制の取りよせのため、問合せにはお断りしている状態です。（小児科）
- ・今のところ希望者に接種できているが、業者からはすぐ手配出来ないことがあるといわれている。（小児科）
- ・今のところおくれながらも接種可能（小児科）
- ・〇〇市は市がワクチンを供給してくれるシステムではないので、医療機関によりばらつきがある。（小児科）
- ・予約の電話を受けた時点で入荷の見込があれば、新規でも受けています。（小児科）
- ・入荷が非常に遅いのでギリギリのラインで判断し、場合によってはⅠ期優先などで対応する。（小児科？）
- ・Ⅰ期を優先して在庫を調整してから、例年通り接種（小児科）
- ・MRの定期予防接種対象者のうち、ワクチン不足のため定期接種の期限内に打ち終わらない人が出る可能性がないと信じています。Ⅱ期が3月までゆとりがあるので。（小児科）

内科

- ・数週間遅れで接種。（内科）
- ・待ってもらっている。（内科）
- ・入荷の予想が立たないので在庫がある場合は希望者には接種（内科）
- ・予約してもらい入り次第連絡している。（内科）
- ・順番でやっている。（内科）
- ・希望者は他院で接種するように案内している。（内科）
- ・MMR 輸入（内科）
- ・MRはほぼ入ってこないで、大人は風疹単独ワクチンで対応。これまでのところ、予約受付後の発注で大きな問題なく対応できています。（内科）
- ・MR ワクチンは、一時期大人の接種を見合わせ小児を優先していましたが、現在は通常通り接種しております。（内科）
- ・予約制にしている。（内科）
- ・確保でき次第接種している。（内科）
- ・現在足りているが、今後の入荷の見込みは不明。（内科）
- ・入荷までに日数がかかる。問屋さん、在庫薄とのこと。（内科）
- ・少しお待ちいただくことはあります（数日）（内科）
- ・一人だけ希望者がいるが、入荷なし。（内科）
- ・予約とし、入荷した場合に対応。（内科）
- ・TEL で予約が入り次第問屋に注文する。（内科）
- ・ワクチンが入荷が著しく時間のかかることが多々ある。（内科）
- ・予約・相談があれば都度対応。入荷手配は可能。（内科）

- ・ふだん診ている患者さえも待ってもらっている。国が足りているというが、実際現場では足りていない事が多く、患者さんからの苦情をうける場合が多いのは困る。（内科）
- ・医師会未入会のため、定期接種の患者はほとんど来ませんが、以前問い合わせがあり、卸に在庫を確認したことがあります。卸にも入荷予定が具体的に分からないと言われました。（小児科）
- ・当院は在庫を持たない。予約が入って注文している。不足していると聞いている。他院から回ってきた方もいる。（内科）
- ・卸業者は担当者によって言うことが違い、「まったく入ってない」という人もいれば「在庫があれば供給する」という人もいて、何度も問い合わせるとやっと出てくるという状況を繰り返している。〇〇市は契約の都合か、スズケン・メディセオのみしか発注できないため、代替がきかないので困っている。（内科）
- ・MR、B型肝炎、日本脳炎とも現在は少しずつワクチンが入るようになり、希望者も以前より減ったので充足している。しかし、少し前はまったくワクチンが入らずかなり待っていただいた。ワクチンがあるか問い合わせのTELも多く、普段かかりつけが違う方のワクチンまでは確保できず、大変仕事に差しさわりがあった。
それなのにその時期に区役所からは各家庭へ予診票が一斉送付され、親が一斉に医療機関へ電話をかけるため、さらに在庫不足に陥った。接種率向上の取り組みは大切だと思うが、いまのワクチン不足の現状を分かっているながら、医療機関への配慮もなく従前どおり、一律に予診票を送りつける自治体の姿勢にも不信感を持つ。
卸会社のMRは事前に在庫が足りないことを分かっていたが、「厚労省の指導により予測はできてても早めに知らせることができない」という。買い溜めに走る医療機関が出るからだというが、何も知らされていない医療機関は先にふだんの患者以外の予約を受けてしまい、後になってメーカーからの供給調整で入荷を6割くらいに減らされ、いつも受診している患者に打てないという事態になった。また、先に予約した人と公費接種の期限が来ってしまう人のどちらを優先すればいいのか、その場合の予約者への説明などにも骨を折った。
卸業者は「ないものは出せない」と言っている一方で、定期接種ではないインフルエンザワクチンを100本大量注文する予定を聞きつけると、急にMRワクチンが融通されることもある。医療機関と業者との駆け引きになっ
てしまっている。（内科）
- ・メーカーは在庫があって大丈夫と言うが、卸で止めていたために現場に行き渡らないのはおかしいと思う。（内科）
- ・当院では入って来ないのでうてないが、近医で打てるところもあるようである。（内科）
- ・当院では接種数が少ないため、今のところ患者に対応できないケースは出ていない。（内科）
- ・問屋に発注し、入荷されるのを待ち、入荷できれば接種（内科）
- ・順番待ち。（内科）

産婦人科

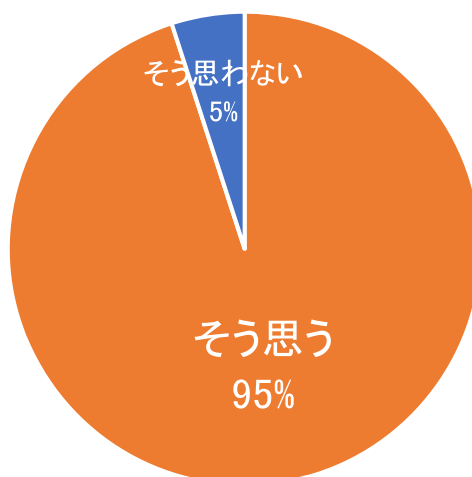
- ・当院は婦人科なのでMRが入手困難であれば、患者の希望・了承を確認・考慮の上で風疹単体で対応しております。（産婦人科）
- ・当院は定期接種を行っていないが、供給不足により大人の接種を先送りする等の対応をしている。（産婦人科）
- ・大人へは風疹単体ワクチンの使用（区の助成事業）に変更した。（産婦人科）
- ・企業の買占めはやめて欲しい。風疹希望 Pt (patient) にはMRは手に入らないので風疹単独ワクチンを施行しているが出来ればMRワクチン接種をしたい。（産婦人科）
- ・風疹単独しかできない（産婦人科）

定期接種が打ち終わらなかった場合の延長措置「必要」と答えた医師が 95% !

「ワクチン不足によって定期接種が期間内に打ち終わらない場合、期限延長等の経過措置は必要と思いますか？」との問いに、95%の医師が「経過措置は必要だ」と回答した。

医師からの声を掲載する。

ワクチン不足で定期接種が打ち終わらない場合、
経過措置は必要と思いますか？



〜〜 先生方のご意見より 〜

経過措置は「必要」

- ・当院ではワクチン3種実施していませんが、延長措置についてはそう思います。
- ・期間延長は、接種漏れを防ぐ為にも是非必要な措置である。
- ・自己負担による接種率低下はワクチンの基本がくずれる。
- ・当然措置が当たり前です。
- ・費用の問題もあるが、ワクチンの効果を考えての期間であるために、そこから外れないよう供給をしていただきたいです。
- ・もし品不足で打てないのなら、延長は当然ではないでしょうか？本人のせいではないのですから。
- ・ワクチン不足の為、患者側に非がないため。
- ・期間中に予約を受けられない症例があると同業者が話していた。
- ・定期接種は、ワクチンの安定供給が原則であり、当然無料での延長として助成が必要。
- ・供給不足なの理由なら仕方がない。
- ・もし品不足で打てないのなら、延長は当然ではないでしょうか？本人のせいではないのですから。
- ・このままいけばそう思う。
- ・本人の責任ではないので、延長措置は当然と思います。
- ・ワクチンが足りなく間に合わない場合は措置は必要だと思う。
- ・早急に!! MRのⅡ期、日脳の追加・Ⅱ期、B肝、いずれも待たせるしかなく、希望するお母さん達に頭を下げ続けています。同じ下げるのでも延長措置があれば待つ親も安心できます。早急に!!
- ・小児に関してはカゼなどで打てないこともあるかと思うので。
- ・供給不足で接種できない場合は延長措置が必要だと思います。

- ・ご本人の都合で接種できないわけではないので。
- ・自己負担する理由がない。
- ・多くの人が接種できなければ延長措置が必要。
- ・**B型肝炎ワクチン、今年度に限って言えば3回目まで終わらないうちに1歳になってしまったら自費で続きを接種することになります。H29.9.30までの誕生日以降の接種費用を区独自の措置により負担をするといった事もありません。**
- ・人口の多い県が接種年齢を上げた場合の影響の大きさを考えて欲しい。
- ・全て会社と国の責任!! 行政のメルトダウン!? あまり期待できない。
- ・すべて定期接種となっているのにこの不足事態は問題である。早急の解決を望む!!
- ・当院では定期接種は行っておりませんが、費用助成期間は延長すべきと考えます。
- ・患者様の都合ではなく、供給不足で接種できないので延長措置は必要だと思います。
- ・実際現場では足りていないのだから、患者さんはかわいそうだと思います。
- ・定期接種の期間が過ぎた場合、市町村による「任意接種（自費）」の費用負担にして頂ければよいと思います。
- ・MRについてはすでに18才まで費用助成はされている。B型肝炎については、区に申し入れずみ。（墨田区）
- ・ワクチン不足の折、仕方のない事です。
- ・ワクチンギャップ解消の為、あらゆるサポートは全面的に賛成です。
- ・延長措置も必要だが、ワクチンの安定供給が早期に行われることを要望する。
- ・MRのみ必要。
- ・2期のMRは、公費延長措置が必要です。特に定期予防接種で供給不足のために接種できない子どもには措置が必要であると思われる。
- ・しかし、供給不足が原因で打ちおわらないのではなく、単に忘れていて期限切れのことが多い。
- ・供給不足の現状がはっきり分かっている上では、対応は必要と思われる。供給が充足されている状況下では、自己負担もやむを得ないと思われる。
- ・P t (patient) 本人は期限まもってるのであるから
- ・不測の事態による供給不足のため、延長措置は必要と考えます。
- ・当院は定期接種を行っていないが、供給不足により大人の接種を先送りする等の対応をしている。全額自己負担となれば未接種者の増加が予想されるため、延長措置は必要。

経過措置は「不要」

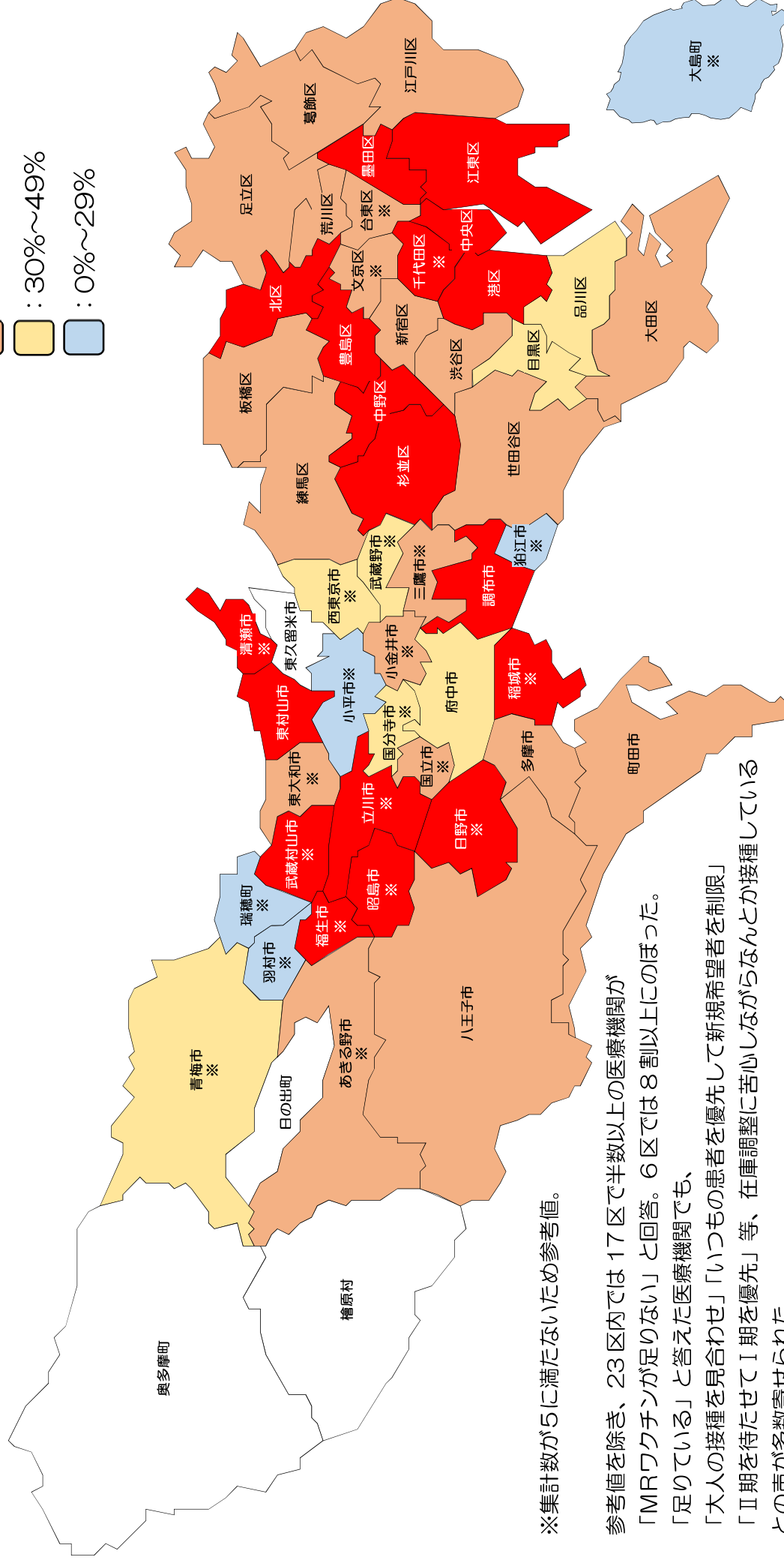
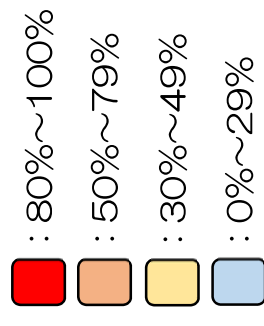
- ・そもそも、供給不足の原因を作ったところが対応すべきで、公費の延長は、補正予算等の絡みから次年度の執行となる。国や自治体等が予算措置を講じる必要はないと思います。
- ・B型肝炎は選択的接種を開始して、白木先生の功績を無視しています。
- ・国家財政難の折、インフルエンザワクチン etc も含め公費でまかないきるのは困難なのではないでしょうか？
- ・MR、B型：1才児に対しては優先すべき。就学時のワクチンに対しては年長期に早めに行うべき。

ワクチン行政等、全般に関する意見

その他、ワクチン行政全般に対するご意見

- ・小児の定期接種分の安定供給が必須。
- ・全てのワクチンを公費で！
- ・不測の事態が多すぎる。
- ・未就学前接種対象者（MR）1年間の延期をお願いしたいです。
- ・MR 1 回接種又は未接種の成人（50 才未満）を 5 年の期限をつけて臨時に全員接種又は勧奨して、この世代の流行をなくして安定した体制とすべき。
- ・ヘプタバックス 0.5ml（B 型肝炎ワクチン）を 0.25ml 使用し残りを破棄してしまうのはもったいないです。
- ・ワクチン行政の貧困だ。
- ・不足がないように対応して欲しい。
- ・ワクチン製造について国が責任を持つべき。
- ・政府の対応が全面的に悪い。
- ・厚労省はワクチン調整するよう通知は出しているようだが解決には至っていない。推移を見守っているだけなのではないか?!
- ・市町村で早めに手をうって不足が生じない様にしてもらいたい。
- ・ワクチンの不足についていつも誰も責任を負わないように思われます。
- ・定期接種ワクチンは供給安定を強く望む。
- ・毎回毎回国は同じ過ちをおかしている。いい加減にしろと言いたい。
- ・余裕をもって生産すべき。
- ・10 年前はワクチンで悩むことはなかったが、2008 年頃から新しいワクチン事業がおこるたびに問題が起こる気がする。安定供給のための必要量に考え違いがあるのではないか？
- ・毎度の事でウンザリ。
- ・総体的適応を考えてワクチンを作るべきです。不足すること自体が理解できない。
- ・鶏卵を使ったワクチン製造は「リスクマネージメントを考えていない」と思う。
- ・貧弱な製造環境と、副作用被害の度に腰砕けになる厚労省のワクチン行政の現状では今後も同様の事態が起こりうる。全面的に世界標準の輸入ワクチンで対応すべき。（例）MMR：5 種混合、6 種混合など。
- ・化血研（九州）はダメな会社！インフルエンザのときもそうだが、ワクチンが足りないという問題は毎年出てくる話。国は何をやっているのか？もはや化血研に任せていてはダメ。一度潰してワクチン行政を立て直すべきだ。
- ・災害時、突発流行に対し備蓄分はないのでしょうか。まずはそういう備蓄分に対応すべきだと思います。
- ・毎年、何かしらワクチンの品薄問題が起きる日本。その中でも今回は特にひどい。接種率を上げる努力は勿論だが、安定供給あつての話。何とかして欲しいと毎年思います。
- ・ワクチンの製造量を多目に考えてほしい。
- ・価格が高すぎる。キューバを見習うとよい。
- ・書類の簡素化！記入事項が多すぎる（ムダが多い）
- ・東電の 3 時間以上の停電で保管庫（4℃で保存）が停止してしまい、1 ヶ月分のワクチンが全て破棄となった。何の補償もないまま 200 万の被害がでた。
- ・インフルエンザワクチン、区によって対応が違うのは？特に港区は財政豊かといわれているが、小児に対して補助しない。パンデミックと騒ぐわりに行政の補助が少ない
- ・ワクチン費用が区や市でなぜこれほど異なるのだろう。高く出している所の内訳を知りたいです。

■ 東京都内のMR（麻しん・風しん混合）ワクチン 不足状況（「足りない」と答えた医療機関の割合）



※集計数が5に満たないため参考値。

参考値を除き、23区内では17区で半数以上の医療機関が

「MRワクチンが足りない」と回答。6区では8割以上にのぼった。

「足りている」と答えた医療機関でも、

「大人の接種を見合わせ」「いつもの患者を優先して新規希望者を制限」

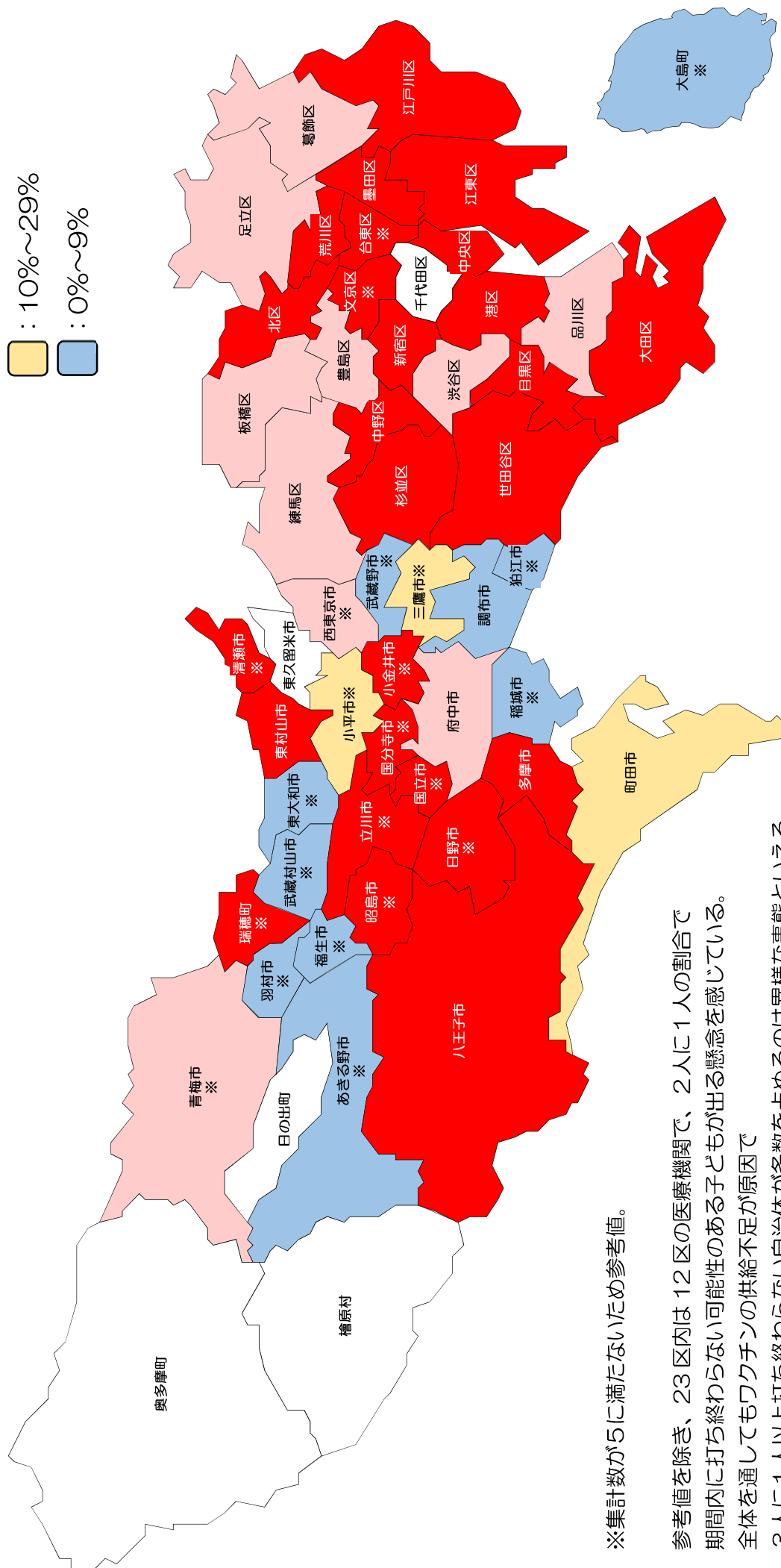
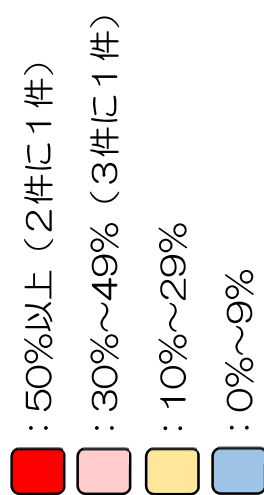
「Ⅱ期を待たせてⅠ期を優先」等、在庫調整に苦しみながらなんとか接種している

との声が多数寄せられた。

一方、「都度注文でも問題なく入荷できる」「自治体が一括して購入するため供給が回復した」

との声もあり、地域差が存在することも窺える。

■ MR（麻しん・風しん混合）ワクチンの定期接種対象者（子ども）のうち、期間内に打ち終わらない可能性（「打ち終わらない可能性がある」と答えた医療機関の割合）



※集計数が5に満たないため参考値。

参考値を除き、23 区内は 12 区の医療機関で、2 人に 1 人の割合で期間内に打ち終わらない可能性のある子どもが出る懸念を感じている。全体を通してワクチンの供給不足が原因で 3 人に 1 人以上打ち終わらない自治体が多数を占めるのは異様な事態といえる。

東京保険医協会
ワクチン供給不足問題
緊急アンケート集計速報

東京保険医協会 ワクチン供給不足問題 緊急アンケート集計速報					全科合計		標榜科目（メイン）									
							小児科		内科		耳鼻咽喉科		産婦人科		その他	
					件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%		
在庫	MR	1	足りている	106	34%	27	30%	74	36%	0	0%	5	28%	0	0%	
		2	足りない	210	66%	62	70%	129	64%	3	100%	13	72%	3	100%	
	B型肝炎	1	足りている	212	75%	72	83%	127	73%	2	67%	10	77%	1	33%	
		2	足りない	69	25%	15	17%	48	27%	1	33%	3	23%	2	67%	
	日本脳炎	1	足りている	119	45%	32	36%	84	51%	0	0%	2	33%	1	33%	
		2	足りない	146	55%	56	64%	81	49%	3	100%	4	67%	2	67%	
対応	MR	1	例年通り接種できている	85	22%	19	15%	65	28%	0	0%	1	6%	0	0%	
		2	ふだん見ている患者を優先し、新規希望者は断っている。	47	12%	14	11%	32	14%	0	0%	1	6%	0	0%	
		3	I 期を優先してⅡ期を待たせている。	45	12%	27	22%	17	7%	1	25%	0	0%	0	0%	
		4	I 期さえも待たせている。	31	8%	15	12%	16	7%	0	0%	0	0%	0	0%	
		5	大人の接種は見合わせている	66	17%	35	28%	28	12%	1	25%	2	11%	0	0%	
		6	全面的に対応不可能	57	15%	2	2%	43	18%	2	50%	7	39%	3	100%	
		7	その他	55	14%	13	10%	35	15%	0	0%	7	39%	0	0%	
	B型肝炎	1	例年通り接種できている	173	59%	63	68%	102	57%	2	67%	6	46%	0	0%	
		2	ふだん見ている患者を優先し、新規希望者は断っている。	25	9%	6	7%	17	9%	0	0%	2	15%	0	0%	
		3	1回目を優先して2回目を待たせている。	7	2%	4	4%	2	1%	0	0%	1	8%	0	0%	
		4	他社製品で代用している	33	11%	11	12%	22	12%	0	0%	0	0%	0	0%	
		5	他社製品に不安があり代用できない	2	1%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	
		6	全面的に対応不可能	20	7%	2	2%	14	8%	1	33%	1	8%	2	67%	
		7	その他	31	11%	6	7%	21	12%	0	0%	3	23%	1	33%	
	日本脳炎	1	例年通り接種できている	99	36%	30	31%	67	40%	0	0%	1	25%	1	33%	
		2	ふだん見ている患者を優先し、新規希望者は断っている。	35	13%	13	13%	20	12%	1	25%	1	25%	0	0%	
		3	1回目を優先して2回目を待たせている。	23	8%	7	7%	15	9%	1	25%	0	0%	0	0%	
		4	他社製品で代用している	16	6%	8	8%	8	5%	0	0%	0	0%	0	0%	
		5	全面的に対応不可能	53	19%	15	15%	33	20%	1	25%	2	50%	2	67%	
		6	その他	51	18%	25	26%	25	15%	1	25%	0	0%	0	0%	
期間内に打ち終わらない人が出る可能性	MR	1	ある	146	51%	46	53%	91	49%	2	67%	4	40%	3	100%	
		2	ない	143	49%	40	47%	96	51%	1	33%	6	60%	0	0%	
	B型肝炎	1	ある	47	18%	14	17%	27	17%	1	33%	3	33%	2	67%	
		2	ない	213	82%	69	83%	134	83%	2	67%	6	67%	1	33%	
	日本脳炎	1	ある	105	42%	42	49%	55	35%	3	100%	3	75%	2	67%	
		2	ない	148	58%	44	51%	102	65%	0	0%	1	25%	1	33%	
費用延長措置は必要か		1	そう思う	305	94%	79	93%	202	95%	3	100%	14	93%	4	100%	
		2	そう思わない	19	6%	6	7%	11	5%	0	0%	1	7%	0	0%	

（東京保険医協会作成 2016/12/5時点）

2016 年 11 月 21 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿
厚生労働省 健康局長 福島 靖正 殿

東京保険医協会
会長 鶴田 幸男

麻しん・風しん混合ワクチン不足への対策と 定期予防接種の対象児への経過措置を求める緊急要望書

本年 8 月から発生した関西空港や首都圏を中心とする麻しんの流行により、東京都内でも一部の医療機関では MR ワクチン（麻しん・風しん混合ワクチン）の入手が困難となり、子どもへの定期接種の実施すら困難な状況が続いています。

貴省では、9 月 9 日付の事務連絡等により子どもへの定期接種を優先する等の配慮を行うことを各都道府県を通じて医療機関等に要請していますが、11 月初旬に当協会が主な卸会社への聞き取りを行ったところ「流通回復の見込みが立たない」や「少なくとも新規の医療機関からの注文には対応不可能である」など未だに混乱している状況が聞かれます。

一方で医療機関においては、第 1、2 期の定期接種分のワクチンすら調達できず、なかでも定期接種の第 2 期の対象児（小学校就学年の 3 月末まで）について期限内に接種が完了しない恐れが出ています。この場合、適切な時期に接種が受けられないばかりか、接種費用が全額自己負担となるため、1 回につき 1 万円程度が保護者の負担として重くのし掛かります。その結果、課題である接種率向上どころか多くの未接種者が生じることとなり、将来今回のような突発的流行が発生した際に感染拡大の要因になりかねません。

現在、MR ワクチンの国内生産体制はわずか 3 社の民間企業に委ねられており、最新の数字では 2015 年度の生産本数は約 220 万人分¹⁾ ですが、このうち子どもへの定期接種分として約 210 万人分²⁾ が必要でした。近年では定期接種に加え、風しん・先天性風しん症候群対策として妊娠を希望・予定する女性らにも一部公費助成により接種が行われているほか、昨年 10 月には北里第一三共が力価不足の恐れがあるとして 38 万本を自主回収するなど、もともと全国的に逼迫した状況であったことは周知の事実です。

直近でも 2008 年の麻しん、2012 年から 2013 年にかけての風しんなど、突発的な流行が起きる都度にワクチン不足による混乱が繰り返されています。既存の国内ワクチン生産・流通体制を一刻も早く改善するとともに、一部地域で子どもへの定期接種すら実施が困難な現状を鑑み、国の責任で以下の対応を早急に行うよう要望します。

記

1. MR ワクチンの流通偏在・不足状況の実態把握に努め、その内容を明らかにするとともに、速やかにその状況の改善を行うこと
2. 子どもへの定期接種（MR 第 1 期・2 期）について、今般の混乱によりやむを得ず対象年齢を超えてしまった児への経過措置を新たに講じるとともに、当該接種費用について現行の定期接種 A 類と同様の財政措置を行うこと

以上

1) 一般社団法人 日本ワクチン産業協会「ワクチンの基礎 2016 ― ワクチン類の製造から流通まで」（2016 年 8 月改訂版）より

2) 厚生労働省「麻しん風しん予防接種の実施状況（2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日）」より

2016年度 都内の区市町村における予防接種助成状況【概要版】

凡例

1. 対象者、助成額に関わらず自治体として助成を行っているものを「●」と表記した。なお、回答が得られていない自治体分は未掲載である。
2. 「麻しん・風しん（未接種者向け）」は、各区市町村によって対象者の要件が異なる（ex. 18歳までの定期未接種者のうち接種歴が1回もしくは0回の者）。
3. 2016年6月～8月時点の状況を調査したものであり、その後、新たに制度が開始するなど内容が変更となっている可能性もある。

【区部】

* 23区では「港区」と「板橋区」を残すのみ

区市町村	BCG				おたふく	ロタ	B型肝炎 (任意接種)	インフル エンザ	水痘 (任意接種)	成人用 肺炎球菌 (任意接種)	麻しん・風しん (未接種者向け)	
	個別	集団	相互乗入	償還払い (里帰り等)							I 期 (1歳児)	II 期 (小学校入学前年)
1 千代田区	●	—	●※1	●※2	●	×	●	●	×	●	●	●
2 中央区	●	—	●※1	●※2	●	×	×	×	×	●	●	●
3 港区	●	—	●※1	●※2	×	×	×	×	×	×	×	×
4 新宿区	●	—	●※1	●	●	×	●※3	●	×	×	●※4	●※4
5 文京区	●	—	●※1	●	●	×	×	×	×	●	●	●
6 台東区	●	—	●※1	×	×	×	×	●※5	×	×	●	●※6
7 墨田区	●	—	●※1	●※2	×	×	×	×	×	×	●	●
8 江東区	●	—	●※1	×	×	×	×	×	×	×	●	●
9 品川区	●	—	●※1	●	●	●※7	●	×	×	●	●※8	●※8
10 目黒区	●	—	●※1	×	×	×	×	×	×	×	●	●
11 大田区	●	—	●※1	●	×	×	×	×	×	●	●※9	●※9
12 世田谷区	●	—	●※1	●	×	×	×	●	×	×	●	●
13 渋谷区	●	—	●※1	×	●	●	●	●	×	×	●	●
14 中野区	●※10	●	●※1	●	●	●※11	×	×	×	×	●	●
15 杉並区	●※12	—	●※1	×	●	●	×	×	×	×	●	●
16 豊島区	●	—	●※1	●※2	●※13	×	●	×	×	×	●	●
17 北区	●	—	●※1	×	●	×	×	×	×	●※14	●	●
18 荒川区	●	—	●※1	●※2	●	×	●※15	×	×	×	●	●
19 板橋区	●※16	—	●※1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
20 練馬区	●	—	●※1	×	●	×	×	×	×	●	●	●
21 足立区	●※17	—	●※1	●※2	×	×	×	×	×	×	●	●
22 葛飾区	●	—	●※1	×	●	×	×	×	×	×	●	●
23 江戸川区	●	—	●※1	×	×	×	×	×	×	×	●	●

※1：今年度から、23区内でBCGの相互乗入を開始（23区）

※2：今年度から、保護者の里帰り出産等における「子どもの定期接種」の償還払いを開始（千代田区、中央区、港区、墨田区、豊島区、荒川区、足立区）

※3：2016年2月から、2014年4月2日以降に生まれた児（2歳未満）らへの助成制度を開始。助成期間は対象者により異なる（新宿区）

※4：今年度から、2歳以上～18歳以下で「MRワクチン定期」2回の接種が完了していない子どもへの助成を開始（新宿区）

※5：今年度から、対象者への助成金額を従来の2,000円から「2,300円/回」に引き上げた（台東区）

※6：従来の「第1期」に加えて、本年10月から「第2期」の未接種者へも助成を開始（台東区）

※7：今年度から、新たに7,000円/回の助成を開始。助成回数はロタリックス、ロタテックともに2回分まで（品川区）

※8：今年度から、2歳から19歳誕生日の前々日で「MRワクチン定期」2回の接種が完了していない子どもへの助成を開始（品川区）

※9：今年度から、2歳以上～18歳以下で「MRワクチン定期」2回の接種が完了していない子どもへの助成を開始（大田区）

※10：今年度から「個別接種」の契約医療機関を増やし、従来の「東京警察病院」をふくめ合計22医療機関で個別接種が可能となった（中野区）

※11：今年度から、4月1日以降に生まれた中野区在住の児（東日本最震災の被災者を含む）を対象に、6,000円・1回分のみの助成を開始（中野区）

※12：昨年度は「個別接種」と「集団接種（保健センター）」を併用していたが、今年度からは「個別接種」のみ（杉並区）

※13：今年度から、対象者への助成金額を従来の3,000円から「全額助成」に拡充した（豊島区）

※14：2016年10月末で任意接種の助成は終了予定（北区）

※15：2016年6月1日から9月30日までの期間、国の定期接種対象児のうち「生後2か月からの接種」を促すための助成を開始（荒川区）

※16：今年度から区内協力医療機関での「個別接種」に変更（板橋区）

※17：昨年度は「個別接種」と「集団接種」を併用していたが、今年度からは「個別接種」のみ（足立区）

* 多摩部では、半数程度しか導入が進まず

【多摩部】

区市町村	BCG				おたふく	ロタ	B型肝炎 (任意接種)	インフル エンザ	水痘 (任意接種)	成人用 肺炎球菌 (任意接種)	麻しん・風しん (未接種者向け)	
	個別	集団	相互乗入	償還払い (里帰り等)							I 期 (1歳児)	II 期 (小学校入学前年)
24 八王子市	●※18	—	●※19	●	×	×	●※20	×	×※21	●	●	●
25 立川市	●	—	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×
26 武蔵野市	●※22	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●
27 三鷹市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●
28 青梅市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
29 府中市	●	—	●※23	×	×	×	×	×	×	×	●	●
30 昭島市	●	—	×	×	×	×	×	●	×	●	×	×
31 調布市	●	—	●※23	×	×	×	×	×	×	×	●	●
32 町田市	●	—	●※19	●	×	×	×	×	×	×	●※25	●※25
33 小金井市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×
34 小平市	—	●	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×
35 日野市	—	●	●※19	●	×	×	×	×	×	●	●	●
36 東村山市	—	●	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×
37 国分寺市	●	—	×	×	×	×	×	●※26	×	×	×	×
38 国立市	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
39 福生市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
40 狛江市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
41 東大和市	●	—	×	●	×	×	×	×	×	●	●	●
42 清瀬市	—	●	×	×	×	×	●※27	●	×	×	×	×
43 東久留米市	—	●	×	×	▲※28	×	×	×	×	×	×	×
44 武蔵村山市	●	—	×	×	×	×	●※29	×	×	×	×	×
45 多摩市	●	—	●※19	●	×	×	×	×	×	×	×	×
46 稲城市	●※30	—	●※19	●	×	×	×	×	×	×	×	×
47 羽村市	—	●	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×
48 あきる野市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
49 西東京市	—	●	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●
50 瑞穂町	—	●	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●
51 日の出町	依頼中											
52 檜原村	●	—	×	×	×	×	×	●	×	●	×	×
53 奥多摩町	●	—	×	●	×	×	×	●	×	●	×	×

- ※ 18：今年度から市内の指定医療機関での「個別接種」に変更（八王子市）
 ※ 19：昨年度から八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市の5市内でBCGを含む「子どもの定期接種」の相互乗入を実施
 ※ 20：2016年10月から市独自の任意接種助成事業を開始。対象は定期接種の対象とならない2016年3月以前に生まれた児（八王子市）
 ※ 21：定期接種の対象者とは別に、市独自に助成してきた「水痘特別接種（3～4歳児）」は昨年度末で終了（八王子市）
 ※ 22：従来の「保健センターでの集団接種」に加えて、今年度からは市内指定医療機関での「個別接種」も開始（武蔵野市）
 ※ 23：府中市・調布市の間で子どもの定期接種の相互乗入を実施（府中市、調布市）
 ※ 24：任意接種の助成は昨年度末で終了（町田市、小平市）
 ※ 25：昨年度から開始したMRワクチン未接種者向けの「フォロー予防接種」について、今年度から助成回数を2回とするなど制度拡充（町田市）
 ※ 26：今年度から乳幼児を対象に、接種費用のうち1,000円を上限に助成を開始（国分寺市）
 ※ 27：5月から市独自の助成を開始。対象は昨年4月2日～2016年4月1日生まれの子どもで、助成期間は来年3月末まで（清瀬市）
 ※ 28：今年度から、東久留米市医師会として「おたふくかぜ」の予防接種費用の助成を開始（東久留米市）
 ※ 29：2016年10月から市独自の任意接種助成事業を開始。対象は2015年4月～2016年3月末に生まれた児（武蔵村山市）
 ※ 30：原則として「集団接種」（稲城市）

平成27年度 麻しん・風しん定期予防接種等 実施状況（区市町村別）（9月末時点実績）

《接種実績》							《第2期接種率》（麻しん）		《第2期接種率》（風しん）	
区市町村名	定期予防接種		都補助事業対象		区市町村 独自事業	（接種者数計）	9月末時点接種率		9月末時点接種率	
	第1期	第2期	機会逸失者	CRS対策			26年度	27年度	26年度	27年度
1 千代田区	286	346	14	0	0	646	75.0	73.2	75.0	73.2
2 中央区	815	829	10	86	98	1,838	77.0	70.0	77.0	69.9
3 港区	1,331	1,010	0	64	0	2,405	46.4	47.5	46.4	47.5
4 新宿区	1,073	1,044	0	67	19	2,203	52.2	53.6	52.2	53.6
5 文京区	866	927	51	123	36	2,003	53.2	54.0	53.2	54.0
6 台東区	710	652	4	56	0	1,422	63.9	60.9	63.9	60.9
7 墨田区	853	1,173	34	165	94	2,319	67.6	64.8	67.6	64.8
8 江東区	2,287	2,550	63	324	0	5,224	52.5	57.6	52.5	57.6
9 品川区	1,523	1,580	0	156	48	3,307	56.3	55.4	56.3	55.4
10 目黒区	1,043	1,267	51	151	64	2,576	63.6	65.0	63.6	65.0
11 大田区	2,567	1,989	0	295	0	4,851	42.4	37.4	42.4	37.4
12 世田谷区	3,661	3,794	107	450	0	8,012	56.6	54.1	56.6	54.1
13 渋谷区	1,047	793	2	149	0	1,991	50.5	54.4	50.5	54.3
14 中野区	1,130	1,029	13	0	82	2,254	58.2	56.6	58.2	56.6
15 杉並区	1,988	2,000	34	333	61	4,416	55.9	53.5	55.9	53.5
16 豊島区	895	769	30	132	39	1,865	51.3	47.4	51.3	47.4
17 北区	1,286	1,282	40	81	0	2,689	55.8	55.6	55.7	55.6
18 荒川区	809	610	47	82	0	1,548	41.1	37.4	41.1	37.4
19 板橋区	2,116	2,085	0	93	0	4,294	58.9	52.2	58.9	52.2
20 練馬区	2,656	3,588	117	98	90	6,549	66.7	62.1	66.7	62.1
21 足立区	2,553	2,953	43	141	0	5,690	55.1	52.5	55.1	52.6
22 葛飾区	1,720	1,900	142	108	0	3,870	48.2	52.2	48.2	52.2
23 江戸川区	2,805	3,194	35	67	0	6,101	56.4	46.9	56.4	46.9
24 八王子市	1,736	3,062	124	100	0	5,022	59.7	65.1	59.7	65.1
25 立川市	650	555	0	47	0	1,252	40.7	37.4	40.7	37.4
26 武蔵野市	561	682	15	42	0	1,300	67.4	62.6	67.4	62.6
27 三鷹市	686	895	44	58	0	1,683	58.0	57.4	57.9	57.4
28 青梅市	424	611	0	26	0	1,061	49.1	56.7	49.1	56.7
29 府中市	1,065	1,314	32	55	0	2,466	59.5	55.9	59.5	55.9
30 昭島市	407	489	0	32	0	928	49.5	51.2	49.5	51.2
31 調布市	970	1,237	72	112	0	2,391	65.4	64.6	65.4	64.6
32 町田市	1,468	2,618	23	112	0	4,221	71.5	68.6	71.5	68.6
33 小金井市	476	427	7	39	0	949	54.5	47.1	54.7	47.1
34 小平市	799	996	0	69	0	1,864	62.8	58.1	62.8	58.1
35 日野市	672	962	0	0	20	1,654	60.4	59.4	60.4	59.4
36 東村山市	490	738	0	69	0	1,297	62.2	56.3	62.2	56.3
37 国分寺市	427	533	0	55	0	1,015	55.4	56.7	55.4	56.7
38 国立市	279	266	0	40	0	585	53.5	48.0	53.5	48.0
39 福生市	213	208	0	12	0	433	55.5	49.3	55.5	49.3
40 狛江市	327	306	0	0	0	633	87.3	52.4	87.3	52.4
41 東大和市	360	494	1	29	0	884	69.2	64.6	69.2	64.6
42 清瀬市	249	358	0	9	0	616	54.3	42.6	54.3	42.6
43 東久留米市	459	523	0	25	0	1,007	60.1	55.5	60.1	55.5
44 武蔵村山市	197	311	0	47	0	555	61.4	42.1	61.4	42.1
45 多摩市	545	805	0	42	0	1,392	63.5	62.2	63.5	62.2
46 稲城市	382	500	0	40	0	922	67.9	57.1	67.8	57.1
47 羽村市	225	241	0	7	0	473	47.2	46.5	47.2	46.5
48 あきる野市	278	394	0	6	0	678	61.6	55.6	61.6	55.6
49 西東京市	738	953	15	57	0	1,763	63.0	57.7	63.0	57.7
50 瑞穂町	106	123	0	3	0	232	41.5	97.6	41.5	97.6
51 日の出町	60	176	0	3	0	239	88.8	92.1	88.8	92.1
52 檜原村	2	6	0	0	0	8	54.5	60.0	54.5	60.0
53 奥多摩町	7	11	0	0	0	18	80.0	68.8	80.0	68.8
54 大島町	21	38	0	0	0	59	63.9	66.7	63.9	66.7
55 利島村	1	1	0	0	0	2	100.0	100.0	100.0	100.0
56 新島村	9	20	0	0	0	29	90.9	90.9	90.9	90.9
57 神津島村	4	16	0	0	0	20	100.0	100.0	100.0	100.0
58 三宅村	6	11	0	0	0	17	83.3	73.3	83.3	73.3
59 御蔵島村	5	4	0	0	0	9	0.0	100.0	0.0	100.0
60 八丈町	23	64	0	4	0	91	88.0	97.0	88.0	97.0
61 青ヶ島村	1	0	0	0	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0
62 小笠原村	12	32	0	0	0	48	90.6	100.0	90.6	100.0
合 計	51,360	58,344	1,171	4,364	651	115,890	57.3	54.9	57.3	54.9

(注) 接種実績については、MRワクチン、麻しん単抗原ワクチン及び風しん単抗原ワクチンの接種者数を計上している。

- ③ ②以外の成人（パートナー、同居家族）
 ② 妊娠を希望・予定する女性（低抗体）
 ① 定期接種の未接種者（都が経費の1/2を補助）